

会 議 記 録			
要件	令和2年度千葉県農業多面的機能発揮検討会	日 時	令和2年9月
場 所	書面開催		
<p>【概要】</p> <p>中山間地域等直接支払交付金について第5期対策から、棚田地域振興活動加算が新設されている。同加算の交付を受けるにあたっては、棚田地域の振興の目標を設定し、その目標を県で設置している第3者委員会に諮る必要があることから本検討会を実施し意見を徴した</p> <p>社会的情勢を考慮し構成員を一同に集めず書面にて開催した。</p> <p>【意見等】</p> <p>●中山間地域等直接支払交付金</p> <p>(質疑)</p> <p>Q ボランティアの増員は地区内と地区外どちらを想定しているか。地区内の場合は手当等との整合性はどうか。</p> <p>A 国より集落機能強化に係るボランティアについては、有償ボランティアであっても構わないとこのため、地区内外問わず増員を目標としている。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成目標の表記が「～人以上となるように活性化に努める」や「～人以上の集客を目指す」となっており、数値が達成可否の判断基準なのか、「努める」「目指す」が条件なのかわかりづらいため、明確に記載したほうがいいのではないか。 ・今年度社会的情勢によりイベント等が中止に追い込まれているのは理解できるが、令和6年度までに完全に収束するか不明であり、アフターコロナの新しい生活様式で、これまでと同様の集客は望めないのではないか。 そのため、リモートワーカーの受け入れや二地域居住を含む週末人口の増加など含め重層的な目標設定にしてはどうか。 ・しばらく続くと思われるウィズコロナのもと、不特定多数の人が地域外から訪れるとなると、開催の判断や対策方法に苦慮することが想定される。 その対策を集落だけに任せるのではなく市・県の手厚いサポートが必要と考える。イベントにおける対策や留意点をまとめるなどして行事を行いやすいよう環境を整えることが重要。 			